

SUPER 耐久シリーズ 2012 第 1 戦  
in  
富士スピードウェイ

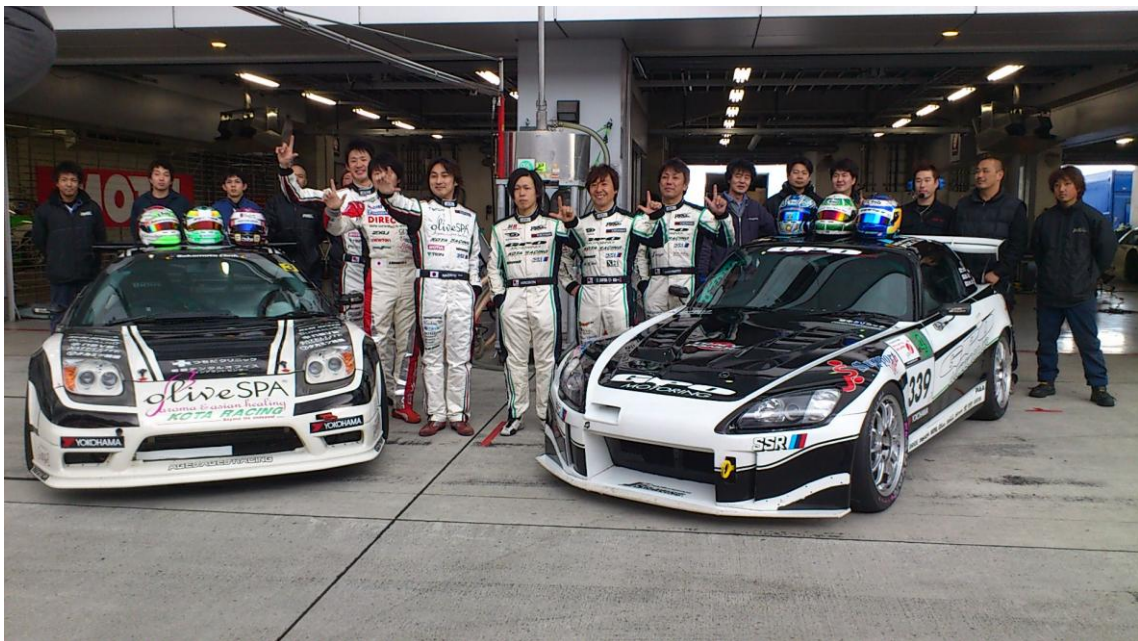


東 徹次郎  
TOHJIRO AZUMA

2012年は新体制での ST-3 クラス参戦！！

トラブルに悩まされ続けた開幕ラウンド！！

- ・開催サーキット：富士スピードウェイ（4.563km）
- ・チーム：KOTA RACING&AGE♂AGE♂RACING
- ・マシン：Olive SPA NSX
- ・メンテナンス：TRACY SPORTS
- ・カーナンバー：#70
- ・クラス：ST-3
- ・ドライバー：A NAORYU B東 徹次郎 C 水谷 晃



## 予選（3月25日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

今回のレースウィークで一番好天に恵まれた日曜日、初日の走り始めから前日まではずっとABSトラブルに悩まされていた為、自分としては今週通して初のアタックでした。

そして、去年はCドライバーだったのでNEWタイヤも初の経験です。

NSXの特性として、フロントタイヤの熱の入りがエンジンのある重いリアタイヤに比べてどうしても時間がかかってしまうので、いかにフロントとリアのバランスを感じ取ってタイミング良くアタック出来るかを考えていました。また、Aドライバー予選の際パワーステアリングのトラブルも出ていたので、最初はそのチェックもしながら徐々にペースを上げていきました。

グリップが出始めてからはすぐに53秒台に入り、53秒半→53秒前半とフィーリングと比例してタイムも出てきていたので、この次のラップだと思い、アタックに入ります。

コースの前半区間をしっかりと走り、最後の区間であるセクター3に入ったところでまさかのトラブルが・・・。

13コーナーに進入した際、旋回中にいきなりパワーステアリングが無くなってマシンの挙動を乱してしまいます。

結局そこでのロスが大きく響き、57秒というタイムで全く更新出来ませんでした。

その後もクールラップを入れて、重いステアリングのままアタックにいきましたが結局タイムを更新出来ず、クラス7位で予選を終えます。

ただ、この状態でもせめて52秒台には入れておきたかったので、自分自身の内容にも満足出来ていませんでした。

**Bドライバー予選タイム：1'53.358（クラス7位）**

**A・B合算順位：クラス8位**



## 決勝（3月25日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

今回は自分がスタートドライバーを担当しました。  
4時間レースということもあり、作戦はフル満タンで約1時間半の45ラップ付近まで引っ張るという作戦です。

一昨年に一度スタートドライバーの経験はありましたが、本当に久しぶりです。

ローリングスタートは前の動きを注意しつつ、いつでもエンジン回転数をパワーバンドに入れておくことに集中していました。

その効果もあってスタートは成功し、1コーナーでアウト側から80号車を抜くことに成功し、クラス7位で1コーナーを抜けます。

しかし100R出口で異変が・・・。

何と、1周目で早くもパワーステアリングが再び壊れてしまいます。

その一瞬のスキをつかれて80号車がヘアピンの入り口でイン側に。

自分もプレッシャーをかけますがマシンもフル満タンなのでブレーキングを無理出来ず、タイトなラインで並走のまま立ち上がるのですが、やはり排気量の差もあって同時での加速は分が悪く、同時にもう1台後ろにいた5号車にも加速を合わせられて前に出られてしまいました。

結局オープニングラップは一つポジションを下げてしまいます。

重いマシンと格闘しながら何とかペースを上げようとするのですが、なかなかペースが上がらず徐々に前との差が広がってしまいます。

ガソリンも少し軽くなりバランスも良くなってきて自分がやっと55秒台に入ってきたときには、前のZ勢は54秒後半と苦しい展開が続きます。

前日までのABSは問題ありませんが、パワーステアリングの方はメインスイッチをいじっても回復せず、体力勝負にもなるなど覚悟を決めました。

ピットストップでタイヤ4本交換を無にする為と、後半のドライバーの為にも終始ブレーキとタイヤの使い方には気を付けて走りました。

そして43ラップを走行して、ピットへ。

このときはリアタイヤ2本だけ交換してNAORYU選手へ交代です。

降りたあと今履いていた自分のリアタイヤをチェックしたところ、摩耗具合も非常にキレイでタイヤは良い状態でした。

NAORYU選手も安定したタイムで走行し、水谷選手との交代の最後のピットでは、タイヤもまだ使えるという判断で、タイヤ無交換でピットアウト。

ピットでのタイムを大きく短縮することに成功します。

そして他車がリタイアしていくなか、6位の入賞圏内に入ってきていました。誰もが入賞を確信したチェッカーまでラスト2分、ここでまさかの展開に……。何と左リアタイヤのスタッドボルトが折れてリアタイヤが飛んでしまい、コース上にストップ。

ホームストレートまで戻ればチェッカーを受けて6位入賞なのに、走行が出来なくなってしまったことで、ラスト2分、距離にしてコース後1/3というところでまさかのリタイア……。

4時間を本当に目前にして、70号車の開幕戦が終了しました。

**決勝：リタイア (Total:119Laps)**

**※ベストラップ：1'55,362(Total:43Laps 走行)**





## 反省

今回の一番の問題は、トラブルが多発したことです。初日からABSトラブルで満足に走ることが出来ず、それが解消されたのが2日目の最後のセッション。

結局NEWタイヤでのアタックも出来ず、セットアップをしようにもしっかりと走れていないので、バランスもそんなに悪くなかった最初のベースセットで行くことになりました。

しかし予選、決勝では今度はパワーステアリングのトラブルに見舞われ、特に決勝は長丁場のレースで苦しい展開となってしまいました。

そして最後はリアのスタッドボルトが折れてタイヤが飛んでしまい、無念のリタイア・・・。

昨年はこのようなトラブルが無かっただけに、今回一気に出了たような感じがします。

次回に向けてメカニックさんともミーティングして、必ず万全の体制でいけるようにしなければなりません。

そして次回のもてぎは練習からしっかりと走ってマシンをセットアップし、レースに備えるのが大前提です。

自分としても、もっと細かく的確にマシンの状態をメカニックさんに伝えて、早くマシンを作れるようにすることが今後の課題です。

また、自分は今年事実上エースとしてチームを引っ張らなければなりませんし、自分自身のスピードをもう一段上げていくことも大きな課題です。



## 最後に

今年もこうやって無事に開幕戦のグリッドに立つことが出来ました。  
これも、いつも応援してくださっている皆様のお陰です。  
本当に有難うございます。

今年は体制も変わり、フル参戦ですし自分にとっては勝負の一年になります。  
自分自身のレベルをもっともっと高いところに持っていけるよう努力し、チームを牽引していけるよう全力で頑張っていきたいと思います。  
そして今年もNSXでチャンピオンを獲得出来るよう頑張ります。

第2戦のもてぎは来月28・29日となります。  
自分としては富士同様走り慣れたコースですし、今回のリベンジの気持ちを胸に、最高のパフォーマンスを出していきますので、どうぞ今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2012年3月26日

東 徹次郎

